

こぶしの花だより

平成30年2月1日発行 46号
社会福祉法人岡山こども協会
放課後等デイサービス こぶしの家
〒709-0802
岡山県赤磐市桜が丘西 10-2-16
TEL086-958-5601 FAX086-958-5602
IP電話 050-3512-7811

Yahoo、Googleで検索

こぶしの家 赤磐

検索



正しい向き合い方

私がこぶしの家で働き始めて1年が経とうとしています。障がいのある方への向き合い方、支援の方法など少しずつではありますが、ようやく分かり始めてきました。

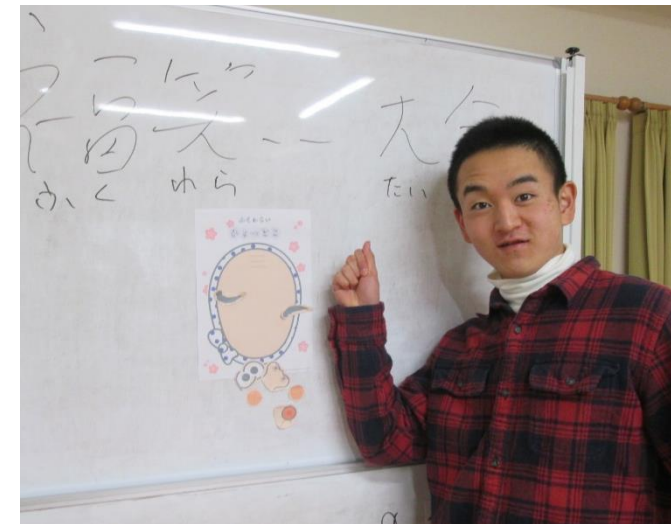
この仕事を始めて常々思うことがあります。それは、まだまだ障がいに対する世間の理解度は低い、ということです。みなさんは「感動ポルノ」という言葉をご存じですか？この言葉の意味は「障がいのある方が障がいを持っている、という理由だけで、あるいは持っていることを含みにして感動をもらった、励まされた」と言われる場面を表しています。この言葉を初めて使用した人物はステラ・ヤングというアメリカのコメディアンです。彼女自身も難病を患い、車いすに乗りながら生活をしています。それでも学校に通い、友だちと遊び、きょうだい喧嘩をし、ごく一般的な日常を過ごしていました。彼女が15歳になったある日、地元のテレビ局の人が彼女の自宅を訪れ、取材をさせてほしいと言われたそうです。その取材とは、障がいのある方を見下すような内容であったと彼女は言います。朝起きて自分の名前を憶えているだけで褒められ、食事を自分の力で終えただけで褒められる。そして完成された番組は多くの感動を呼んだそうです。彼女曰く、この感動とは、健常者が障がいのある方を心のどこかで見下しているから生まれるものだと言っています。

これはアメリカでの話でしたが、私たちの身近ではどうでしょうか。日本においても障がいのある方を感動の対象として取り上げるメディアもあります。それらを否定するつもりは決してありませんが、それらのメディアの有り方に賛成か反対かを障がいのある方に尋ねたところ、実に90%近くの方が反対であると答えたデータがあります。障がいのある方は決して健常者を感動させるために生きているわけではないということを知ってもらいたいと強く願います。

障がいのある方は、常に生き辛さを感じていると話す方も多いです。障がいのある方が不自由なく、生きやすい社会を実現するために、世間に正しい知識が広がることを願うばかりです。

牧 嵩之

1月のBESTショット!



新春福笑い大会を行いました。おかめさんとひよっとこの福笑いにこどもたちは興味津々の様子。
目隠しをし、手探りで顔のパーツを置いていきます。中々難しく、そう上手くはいきません。完成した顔を見て、みんな大爆笑。こんなところに目が！、こんなところに口がーと、お茶目なひよっとこが出来上がりました。

とっても人見知りで恥ずかしがりやな二人。4月からこぶしの家で顔を合わせてきて、最近になって少しずつ距離も縮まってきたようで、二人で過ごす時間も見られるようになってきました。
写真は、ひらがなの文字の磁石で遊んでいるところです。いろいろな食べ物の名前が並び中に、お互いの名前もありました。



一緒に考えてみませんか？

障害を「障がい」と書くことに違和感を覚えますとのご意見をいただきました。こぶしの家では「障がい」と明記することにしていきます。国等いろいろな所でこのことについて議論されているようですが、皆さんはどう思われますか？

あれ？おかしい？なんて思ったことを皆に聞いてみると、こんな考えもあるんだと気づかされること大切だと思います。

是非、ご意見お聞かせください。

<お悩み・要望>

こちらの部分を切り取ってご提出ください

～1月の誕生会～



お楽しみ会に獅子舞が登場。「こわい・・・」という声がちらほら聞こえる中、順番に頭を噛んでもらいました。今年も1年元気に過ごせますように。なんと獅子舞からお菓子のお土産があり、みんなで〇×ゲームをした後、美味しくいただきました。

保護者の方へお礼

先日はこぶしの家評価アンケート提出のご協力、たいへんありがとうございました。みなさんの御意見を参考に、次年度の運営に生かしたいと考えています。
結果について、後日配布させていただきます。

2月の予定表	
9日(金)	誕生会
2月13日(火) ～28日(水)	個別懇談
20日(火)	避難訓練 (靴下の替えをお願いします)

ほっこり にっこり エピソード



こぶしに花を咲かせましょう

「持って行こうか？」おやつが終わる頃、いつもそんな声が聞こえてきます。こぶしの家で提供しているおやつは、もみじの家の給食室で作っています。食べ終わるともみじの家にお皿をこどもたちと返却するのが日課になっています。

以前、手持無沙汰な様子のAさんに「一緒におやつを返しに行こう」と誘うと「いいよ」と言って手伝ってくれました。「ありがとう」と伝えると、嬉しそうな、でもどことなく恥ずかしそうな表情で「いいえ」と返してくれました。それ以降Aさんは、おやつが終わる頃を見計らって「おやつ、持っていこうか？」と聞いてきます。早く持っていきたくてうずうずしているような様子のAさん。Aさんの中でこぶしの家でのやりがいある活動ができたようです。

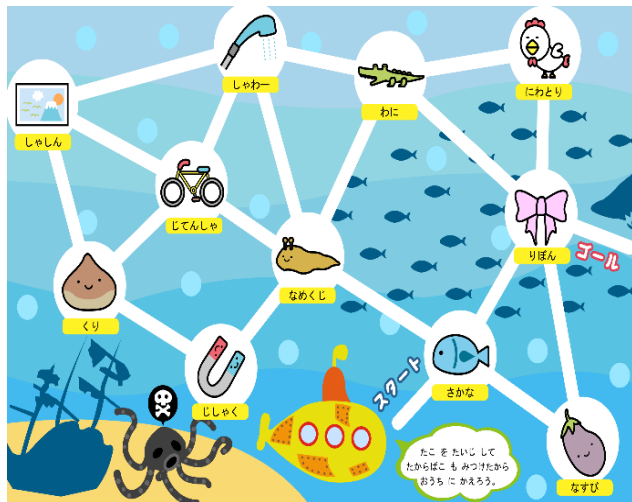
今日もおやつが終わる頃、Aさんの「持って行こうか？」の声が聞こえてきます。「ありがとう」と言うと、今日もAさんは少し恥ずかしそうに、でもどこか嬉しそうに「いいえ」と応えてくれます。

岡野 由希

ちょっとフレイク・・・ホットコーナー

今月は、「しりとり迷路」です。

しりとりをしながら、ゴールを目指せ！



正解は、
また次回！！

〈先月の答え〉

先月の問題は、「仲間あつめ」でした。

Q1の答え→道具は全部で「16こ」

Q2の答え→あそび道具は全部で「6こ」

Q3の答え→楽器は全部で「9こ」

今月の保健ニュース

毎日寒いですね。暖房をつけても寒い！服をたくさん着ても寒い！そんなときには食事を見直してみませんか。体を温める食べ物を紹介します。

★食材選びのポイント

- ◎冬が旬の食べ物
- ◎土の中で育つ
- ◎寒い地方で育つ
- ◎発酵食品

(例)

- ・にんじん
- ・しょうが
- ・玉ねぎ
- ・ごぼう
- ・長いも
- ・にんにく
- ・りんご
- ・鮭
- ・わかめ
- ・納豆
- ・チーズ
- ・キムチ

など



必ずしも温かいものを食べれば体が温まる、というわけではないようです。体の中からポカポカにして、寒い時季を快適に過ごしましょう。

編集後記

続・職員突撃インタビュー
『私のスウィートorピター
なバレンタインの思い出』

◎「チョコ」はもらえど、返し(ホワイトデー)はせず。
それが私の流儀・・・。
(齊藤 歩)

◎初めてもらった(もらいかけた)のが、小学4年生。恥ずかしくてその場から逃げました。
(白石 誠)

◎友チョコはナシでしよう!!と思う派です。「一球入魂」ならぬ「一チョコ入魂」。手作り経験はありませんが。
(末藤 絵美)

◎手作りチョコの失敗分はお父さんへあげていました。
(福山 郁美)

◎うちの娘は、4歳から20歳まで毎年ちがう相手のためにチョコを作っていました・・・。
(國安 留美子)